



# ハードウェア（**SG6000**）を設置 StorageGRID

NetApp  
October 03, 2025

# 目次

ハードウェア（SG6000）を設置	1
ハードウェアを登録	1
SG6060とSG6060X：60ドライブシェルフをキャビネットまたはラックに設置	2
SG6060とSG6060X：ドライブの設置	4
SGF6024：24ドライブシェルフをキャビネットまたはラックに設置します	5
SG6000-CN：キャビネットまたはラックに設置します	7
アプライアンスをケーブル接続（SG6000）	9
SG6060またはSG6060Xをケーブル接続します	10
SGF6024をケーブル接続します	11
SG6060とSG6060X：オプションの拡張シェルフのケーブル接続	13
電源コードを接続して電源（SG6000）を投入	16
SG6000-CN コントローラのステータスインジケータとボタンを表示します	17
一般的なブートコード	18
SG6000 ストレージコントローラのブート時のステータスコードを確認します	18

# ハードウェア（SG6000）を設置

ハードウェアの設置作業では、SG6000-CN コントローラとストレージコントローラシェルフをキャビネットまたはラックに設置し、ケーブルを接続し、電源を投入します。

## ハードウェアを登録

アプライアンスハードウェアを登録するとサポートを受けられるようになります。

手順

1. ストレージコントローラシェルフのシャーシのシリアル番号を確認します。

この番号は、納品書や確認用 E メールで確認できるほか、開梱したアプライアンスにも記載されています。



ストレージアプライアンスには複数のシリアル番号があります。ストレージコントローラシェルフのシリアル番号は、アプライアンスのサービスまたはサポートを受けるために登録して使用する必要がある番号です。

2. ネットアップサポートサイトにアクセスします "[mysupport.netapp.com](https://mysupport.netapp.com)".
3. ハードウェアの登録が必要かどうかを確認します。

ユーザのタイプとアクセス方法	実行する手順
ネットアップの既存のお客様	<ol style="list-style-type: none"><li>a. ユーザ名とパスワードを使用してサインインします。</li><li>b. [製品 &gt;*My Products] を選択します。</li><li>c. 新しいシリアル番号が表示されていることを確認します。</li><li>d. 表示されていない場合は、ネットアップの新規のお客様向けの手順に従ってください。</li></ol>
ネットアップの新規のお客様	<ol style="list-style-type: none"><li>a. [今すぐ登録] をクリックしてアカウントを作成します。</li><li>b. [Products &gt;*Register Products*] を選択します。</li><li>c. 製品のシリアル番号と要求された詳細情報を入力します。</li></ol> <p>登録が承認されると、必要なソフトウェアをダウンロードできます。承認プロセスには最大 24 時間かかる場合があります。</p>

# SG6060とSG6060X：60ドライブシェルフをキャビネットまたはラックに設置

キャビネットまたはラックに E2860 コントローラシェルフ用のレール一式を取り付け、レールにコントローラシェルフをスライドさせます。60 ドライブ拡張シェルフを設置する場合は、同じ手順が適用されます。

## 必要なもの

- 同梱されている安全上の注意に関するドキュメントを確認し、ハードウェアの移動と設置に関する注意事項を理解しておきます。
- レールキットに手順書が同梱されていることを確認します。



ドライブが取り付けられていない状態の 60 ドライブシェルフの重量は、約 60kg（132 ポンド）です。シェルフを安全に移動するには、4 名の人員または電動リフトが必要です。



ハードウェアの損傷を避けるため、ドライブを取り付けた状態でシェルフを移動しないでください。シェルフを移動する前に、ドライブをすべて取り外す必要があります。



E2860 コントローラシェルフまたはオプションの拡張シェルフを設置する場合は、機器の転倒を防ぐために、ラックまたはキャビネットの一番下から順にハードウェアを設置してください。最も重い機器をキャビネットまたはラックの一番下に設置するには、E2860 コントローラシェルフおよび拡張シェルフの上に SG6000-CN コントローラを設置します。



設置作業を行う前に、アプライアンスに付属の 0.5m 光ケーブル、または用意したケーブルの長さが、計画したレイアウトに十分であることを確認してください。

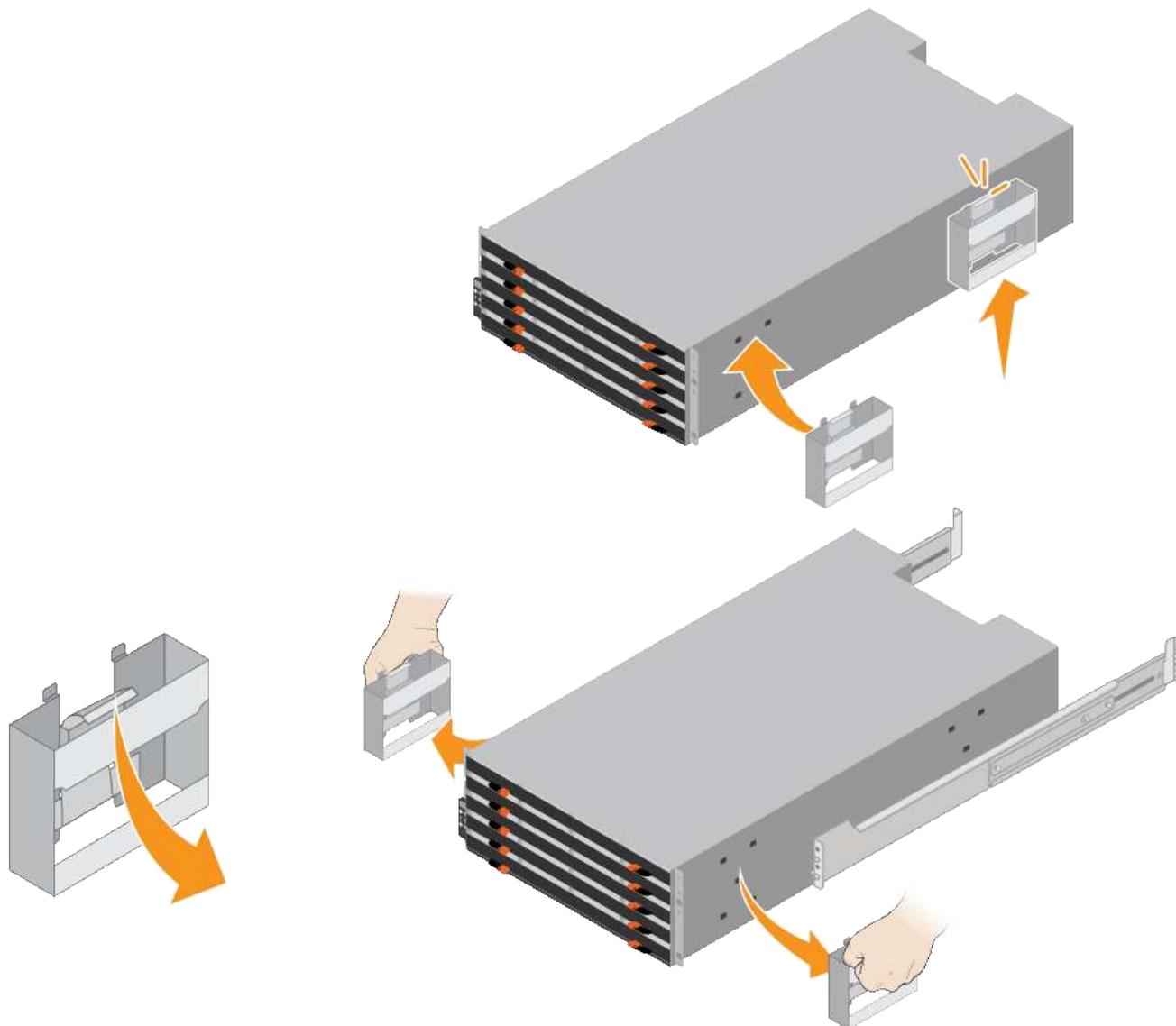
## 手順

1. キャビネットまたはラックにレールを取り付ける際には、レールキットの手順書に慎重に従ってください。

角穴キャビネットの場合は、最初に付属のケージナットを取り付けて、シェルフの前面と背面をネジで固定する必要があります。

2. アプライアンスの外箱を取り外します。次に、内側のボックスのフラップを折りたたみます。
3. アプライアンスを手で持ち上げる場合は、シャーシの側面に 4 つのハンドルを取り付けます。

各ハンドルをカチッと所定の位置に収まるまで押し上げます。



4. シェルフの背面（コネクタ側）をレールに配置します。
5. シェルフを底から支えながら、キャビネットにスライドさせます。ハンドルを使用している場合は、サムラッチを使用して、シェルフをスライドさせながら一度に1つずつハンドルを外します。

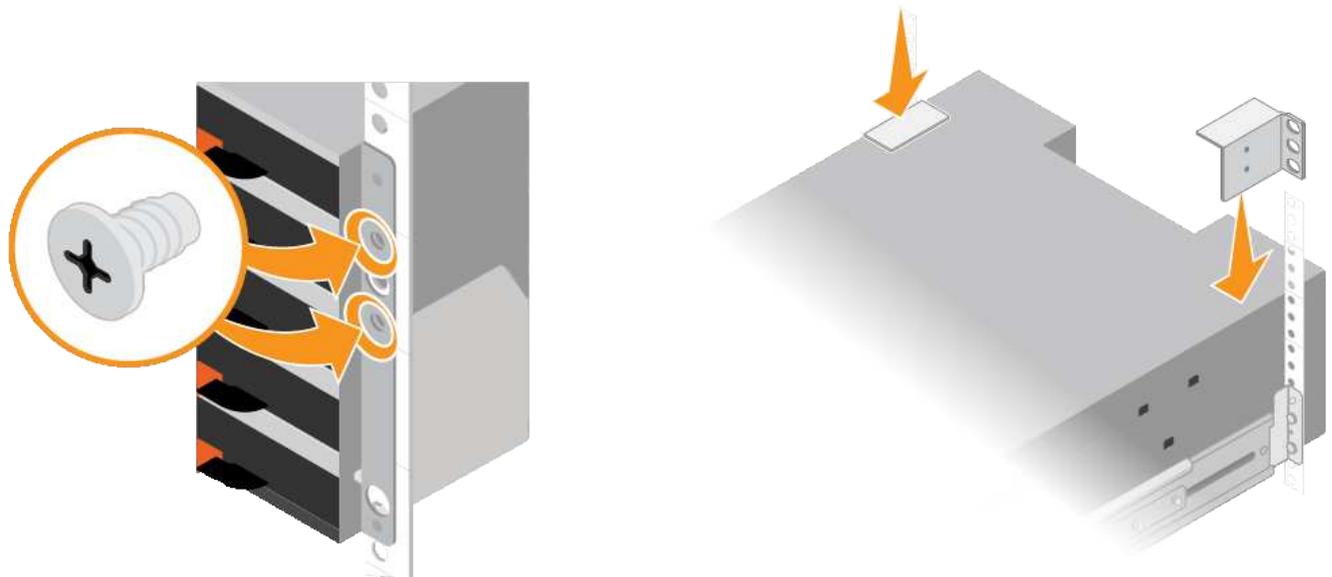
ハンドルを取り外すには、リリースラッチを後方に引き、押し下げてシェルフから引き出します。

6. シェルフをキャビネットの前面に固定します。

シェルフの両側の上部から1番目と3番目の穴にネジを差し込みます。

7. シェルフをキャビネットの背面に固定します。

シェルフの背面上部の両側に2つの後部ブラケットを配置します。各ブラケットの1番目と3番目の穴にネジを差し込みます。



8. すべての拡張シェルフについて、上記の手順を繰り返します。

## SG6060とSG6060X：ドライブの設置

60 ドライブシェルフをキャビネットまたはラックに設置したら、シェルフに 60 本のドライブをすべて取り付ける必要があります。E2860 コントローラシェルフには SSD ドライブが 2 本同梱されており、これらをコントローラシェルフ上段のドロワーに取り付ける必要があります。オプションの拡張シェルフには HDD ドライブが 60 本同梱されていますが、SSD ドライブは同梱され

必要なもの

E2860 コントローラシェルフまたはオプションの拡張シェルフ（1 台または 2 台）をキャビネットまたはラックに設置しておきます。



ハードウェアの損傷を避けるため、ドライブを取り付けた状態でシェルフを移動しないでください。シェルフを移動する前に、ドライブをすべて取り外す必要があります。

手順

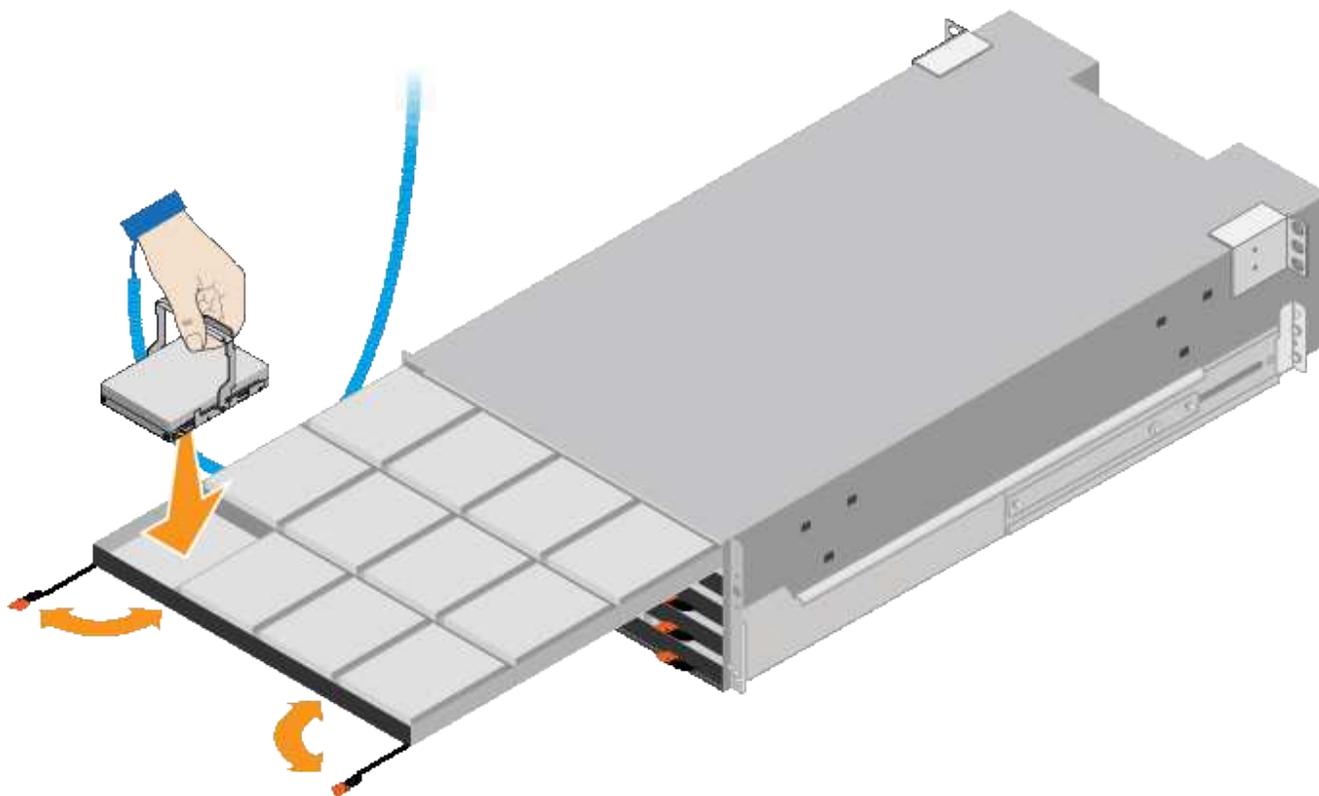
1. ESD リストバンドのストラップの端を手首に巻き付け、静電気の放電を防ぐためにクリップの端をメタルアースに固定します。
2. ドライブをパッケージから取り出します。
3. 上部ドライブドロワーのレバーを解放し、レバーを使用してドロワーを引き出します。
4. 2 本の SSD ドライブを確認します。



拡張シェルフでは SSD ドライブを使用しません。

5. 各ドライブのハンドルを垂直な位置まで持ち上げます。
6. 2 本の SSD ドライブをスロット 0 と 1（ドロワーの左側にある最初の 2 つのスロット）に取り付けます。

7. 各ドライブをスロットに慎重に配置し、持ち上げたドライブのハンドルをカチッと所定の位置に収まるまで下げます。



8. 10本のHDDドライブを上段のドロワーに取り付けます。
9. ドロワーの中央を押し、両方のレバーを静かに閉じてドロワーを元の位置に戻します。



しっかりはまったら、ドロワーを押すのを止めます。ドロワーの前面にあるリリースレバーを使ってドロワーを引き出します。次に、ドロワーを慎重にスロットに挿入し直します。

10. 残りの4つのドロワーにHDDドライブを取り付ける場合は、上記の手順を繰り返します。



正しく動作させるためには、60本のドライブをすべて取り付ける必要があります。

11. 前面ベゼルをシェルフに取り付けます。
12. 拡張シェルフを使用する場合は、上記の手順を繰り返して、それぞれの拡張シェルフの各ドロワーにHDDドライブを12本取り付けます。
13. キャビネットまたはラックにSG6000-CNを設置する手順に進みます。

## SGF6024 : 24 ドライブシェルフをキャビネットまたはラックに設置します

EF570 コントローラシェルフ用のレールをキャビネットまたはラックに取り付け、レールにアレイをスライドさせます。

## 必要なもの

- 同梱されている安全上の注意に関するドキュメントを確認し、ハードウェアの移動と設置に関する注意事項を理解しておきます。
- レールキットに手順書が同梱されていることを確認します。

## 手順

1. キャビネットまたはラックにレールを取り付ける際には、レールキットの手順書に慎重に従ってください。

角穴キャビネットの場合は、最初に付属のケージナットを取り付けて、シェルフの前面と背面をネジで固定する必要があります。

2. アプライアンスの外箱を取り外します。次に、内側のボックスのフラップを折りたたみます。
3. シェルフの背面（コネクタ側）をレールに配置します。



フル装備のシェルフの重量は、約 24kg（52 ポンド）です。エンクロージャを安全に移動するには、2 名で運搬する必要があります。

4. シェルフを慎重にレールにスライドさせて、奥まで押し込みます。



シェルフを奥まで入るよう、レールの調整が必要になる場合があります。

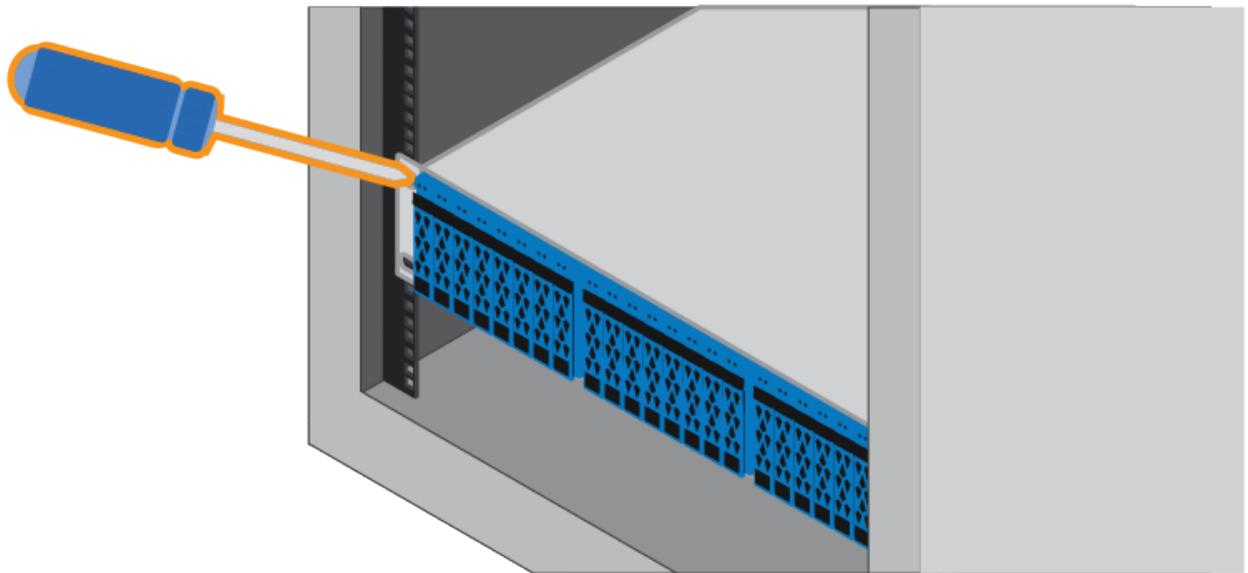


シェルフの設置が完了したあとにレールにその他の機器を置かないでください。レールはシェルフ以外の機器の重量を支えるようには設計されていません。



必要に応じて、シェルフのエンドキャップやシステムベゼルを取り外してエンクロージャをラックポストに固定しなければならない場合があります。その場合は、作業が終わったらエンドキャップやベゼルを交換する必要があります。

5. 取り付け用ブラケット（エンクロージャ前面の両側に取り付け済み）、ラックまたはシステムキャビネットの穴、およびレール前面の穴に 2 本の M5 ネジを通し、エンクロージャをキャビネットまたはラックとレールの前面に固定します。



6. シェルフのブラケットとレールキットブラケットに 2 本の M5 ネジを通して、エンクロージャをレールの背面に固定します。
7. 必要に応じて、シェルフのエンドキャップまたはシステムベゼルを交換します。



## SG6000-CN : キャビネットまたはラックに設置します

キャビネットまたはラックに SG6000-CN コントローラのレールを 1 組取り付け、レールにコントローラをスライドさせます。

必要なもの

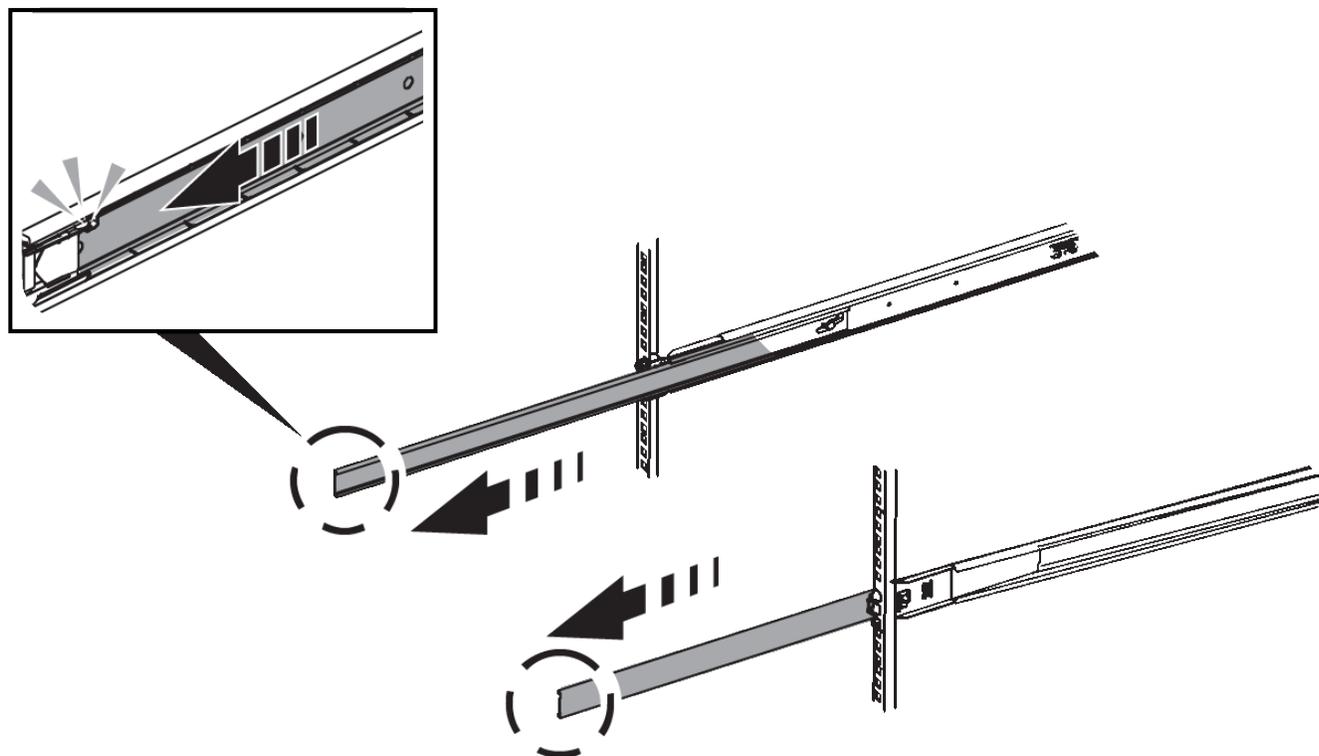
- 同梱されている安全上の注意に関するドキュメントを確認し、ハードウェアの移動と設置に関する注意事項

項を理解しておきます。

- レールキットに手順書が同梱されていることを確認します。
- E2860 コントローラシェルフとドライブまたは EF570 コントローラシェルフを取り付けておきます。

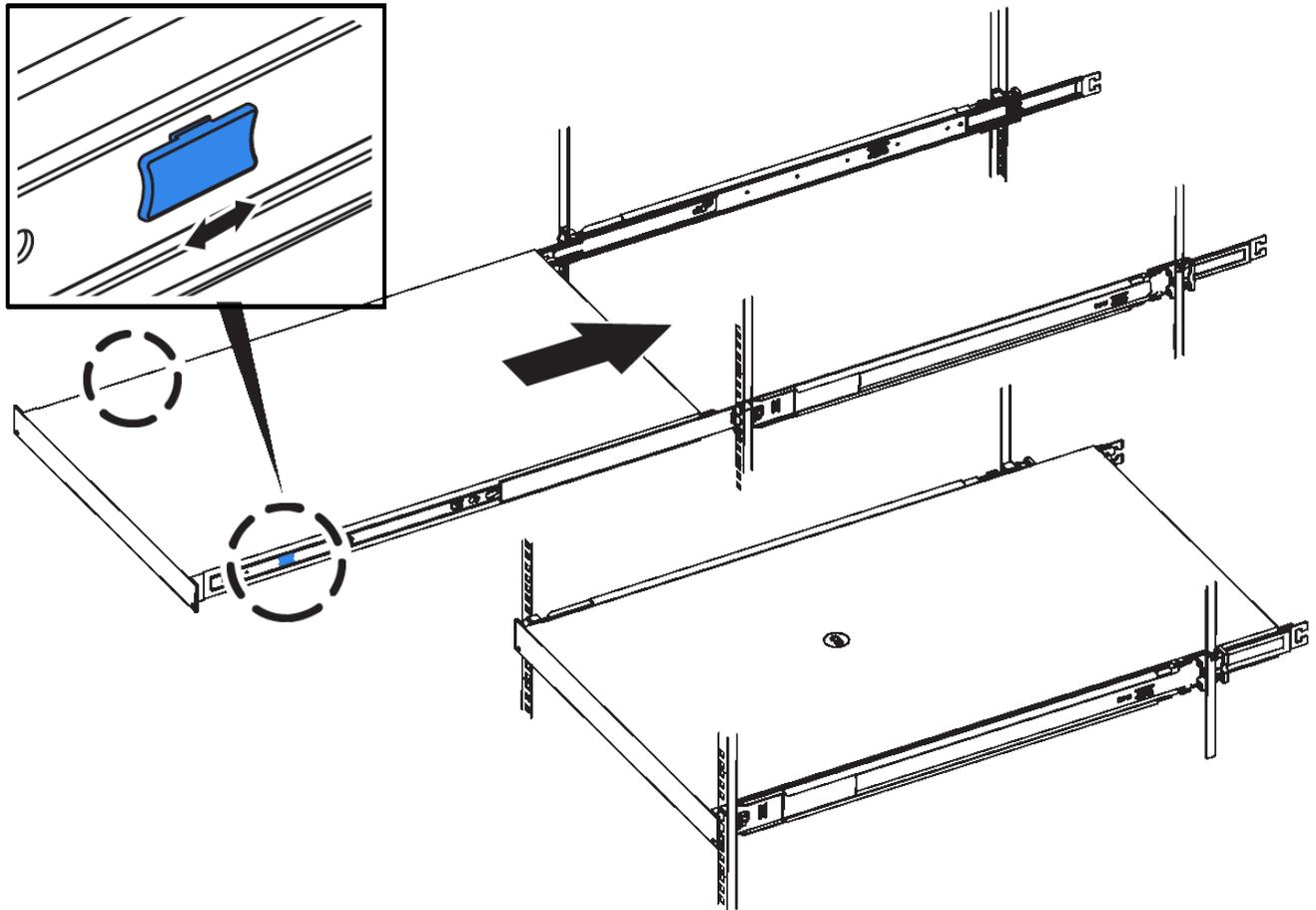
#### 手順

1. キャビネットまたはラックにレールを取り付ける際には、レールキットの手順書に慎重に従ってください。
2. キャビネットまたはラックに取り付けた 2 本のレールで、カチッという音がするまでレールの可動部分を伸ばします。



3. SG6000-CN コントローラをレールに挿入します。
4. コントローラをキャビネットまたはラックにスライドさせます。

コントローラが途中でひっかかる場合は、シャーシの両側にある青いラッチを引いて、コントローラを奥までスライドさせます。



コントローラの電源を入れるまでは、前面ベゼルを取り付けないでください。

5. コントローラの前面パネルの非脱落型ネジを締めて、コントローラをラックに固定します。



## アプライアンスをケーブル接続（SG6000）

ストレージコントローラを SG6000-CN コントローラに接続し、3 台すべてのコントローラの管理ポートを接続して、SG6000-CN コントローラのネットワークポートを StorageGRID のグリッドネットワークとオプションのクライアントネットワークに接続する必要があります。

### 必要なもの

- アプライアンスに付属する 4 本の光ケーブルを使用して、2 台のストレージコントローラを SG6000-CN コントローラに接続します。
- 管理ポートを接続するための RJ-45 イーサネットケーブルを最低 4 本用意しておきます。
- ネットワークポートに次のいずれかを設定しておきます。これらはアプライアンスには付属していません。

- 4つのネットワークポートを接続するための TwinAx ケーブルを 1~4 本。
- ポートに光ケーブルを使用する場合は、SFP+ または SFP28 トランシーバを 1~4 個。



\* レーザー被ばくの危険性 \* — SFP トランシーバを分解したり部品を取り外したりしないでください。レーザー被ばくのおそれがあります。

このタスクについて

ここでは、次のアプライアンスのケーブル接続手順について説明します。

- SG6060とSG6060X
- SGF6024

### SG6060またはSG6060Xをケーブル接続します

次の図は、SG6060とSG6060Xアプライアンスの3台のコントローラと、SG6000-CNのコンピューティングコントローラが上部に、E2800の2台のストレージコントローラが下部にある構成を示しています。

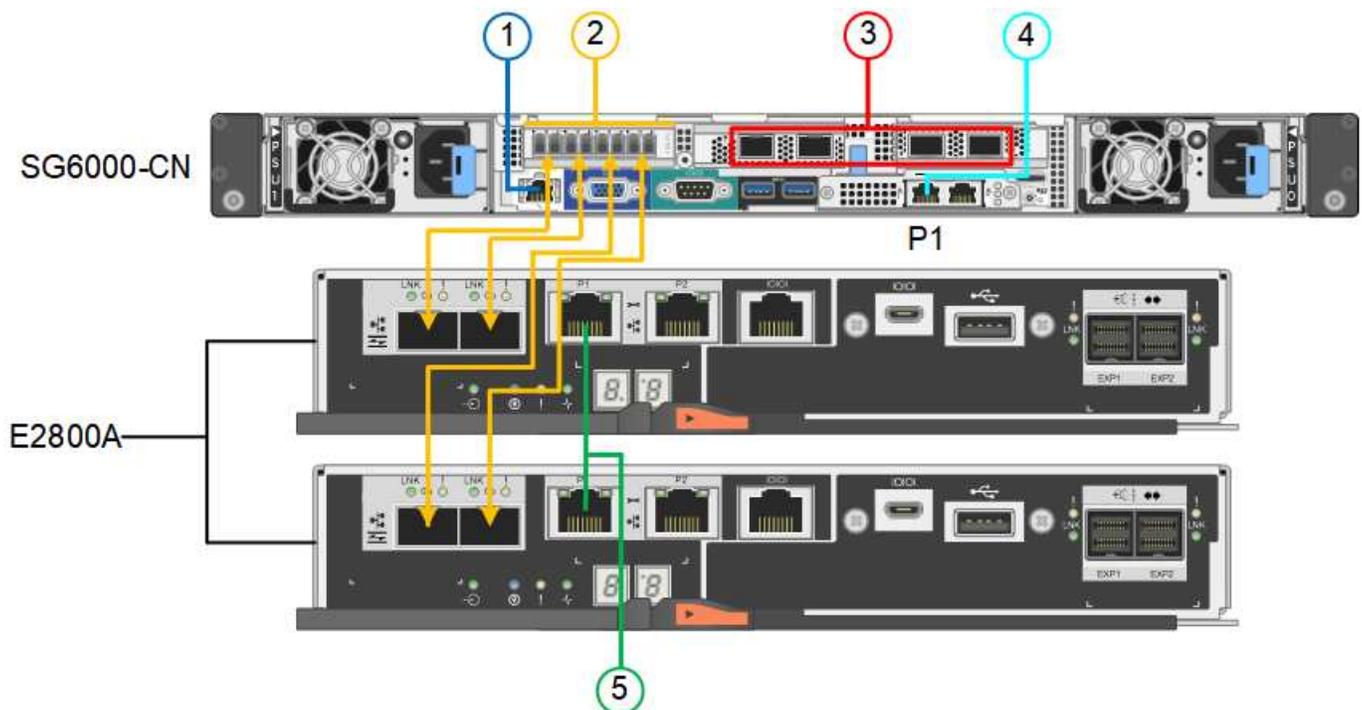


SG6060にはE2800Aコントローラ、SG6060XにはE2800Bコントローラが搭載されています。E2800コントローラの仕様と機能はどちらのバージョンもインターコネクトポートの場所を除いて同じです。

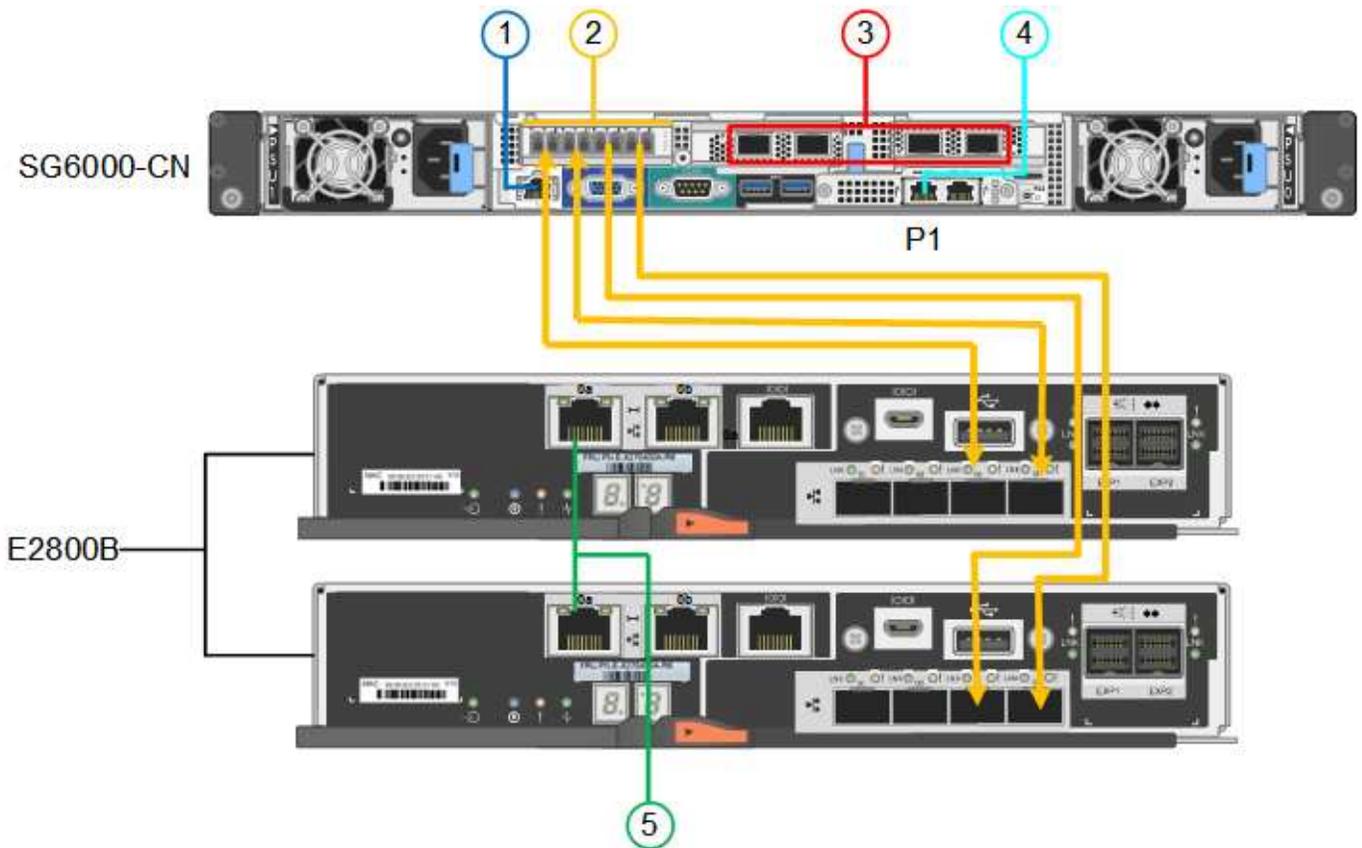


同じアプライアンスにE2800AコントローラとE2800Bコントローラを使用しないでください。

- SG6060からE2800Aへの接続\*

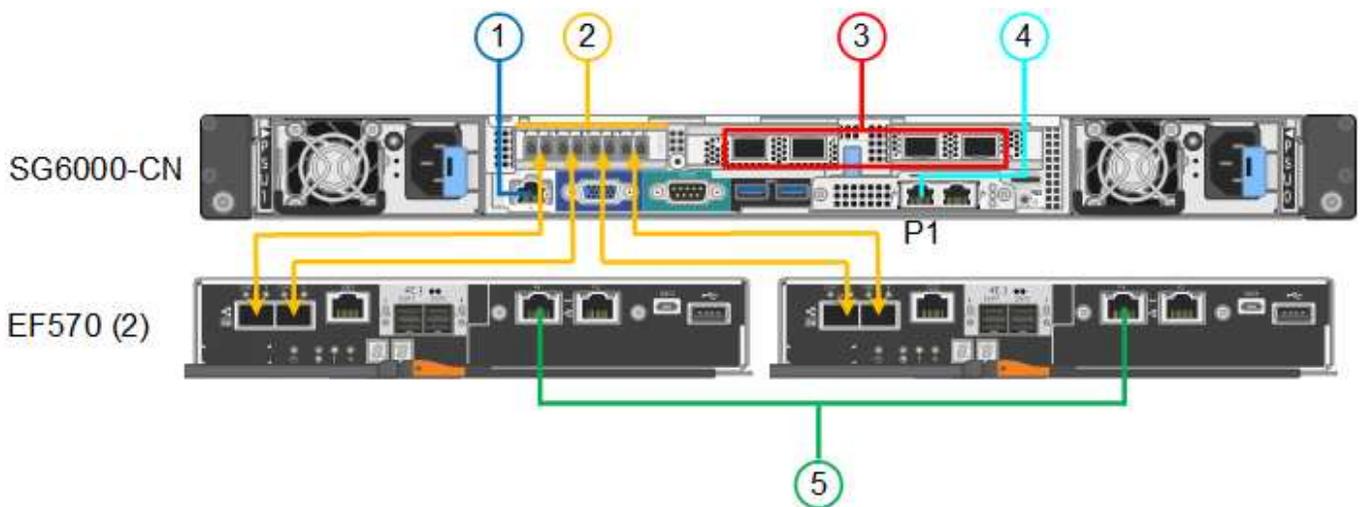


- SG6060XからE2800Bへの接続\*



### SGF6024をケーブル接続します

次の図は、SGF6024 アプライアンスの3台のコントローラを示しています。SG6000-CN コンピューティングコントローラが上部に、2台のEF570 ストレージコントローラがコンピューティングコントローラの下側にそれぞれ配置されています。



	ポート	ポートのタイプ	機能
1.	SG6000-CN コントローラの BMC 管理ポート	1GbE (RJ-45)	BMC インターフェイスにアクセスするネットワークに接続します。

	ポート	ポートのタイプ	機能
2.	FC 接続ポート：  • SG6000-CN コントローラで 4 つ  • 各ストレージコントローラに 2 つ	16Gb/s FC 光ファイバ SFP+	各ストレージコントローラを SG6000-CN コントローラに接続します。
3.	SG6000-CN コントローラの 4 つのネットワークポート	10 / 25GbE	StorageGRID のグリッドネットワークおよびクライアントネットワークに接続します。
4.	SG6000-CN コントローラの管理ネットワークポート (図の P1)	1GbE (RJ-45)  • 重要：* このポートは 1000BASE-T / 全二重でのみ動作し、10 メガビットまたは 100 メガビットの速度はサポートしません。	SG6000-CN コントローラを StorageGRID の管理ネットワークに接続します。
	SG6000-CN コントローラの右端の RJ-45 ポート	1GbE (RJ-45)  • 重要：* このポートは 1000BASE-T / 全二重でのみ動作し、10 メガビットまたは 100 メガビットの速度はサポートしません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 管理ネットワークへの冗長接続が必要な場合は、管理ポート 1 とボンディングできます。</li> <li>• 一時的なローカルアクセス用 (IP 169.254.0.1) に空けておくことができます。</li> <li>• DHCP によって割り当てられた IP アドレスを使用できない場合は、設置時に SG6000-CN コントローラをサービスラップトップに接続するために使用できます。</li> </ul>
5.	各ストレージコントローラの管理ポート 1	1GbE (RJ-45)	SANtricity System Manager にアクセスするネットワークに接続します。
	各ストレージコントローラの管理ポート 2	1GbE (RJ-45)	テクニカルサポート専用です。

## 手順

1. イーサネットケーブルを使用して、SG6000-CN コントローラの BMC 管理ポートを管理ネットワークに接続します。

この接続はオプションですが、サポート用に接続することを推奨します。

2. ストレージコントローラの 4 本の光ケーブルと 4 個の SFP+ トランシーバを使用して、各ストレージコントローラの 2 つの FC ポートを SG6000-CN コントローラの FC ポートに接続します。

- SG6000-CN コントローラのネットワークポートを、TwinAx ケーブル、または光ケーブルと SFP+ または SFP28 トランシーバを使用して、適切なネットワークスイッチに接続します。



4つのネットワークポートで同じリンク速度を使用する必要があります。10GbE のリンク速度を使用する場合は、SFP+ トランシーバを取り付けます。25GbE のリンク速度を使用する場合は、SFP28 トランシーバを取り付けます。

- 固定ポートボンディングモード（デフォルト）を使用する場合は、次の表のように各ポートを StorageGRID のグリッドネットワークまたはクライアントネットワークに接続します。

ポート	接続先
ポート 1	クライアントネットワーク（オプション）
ポート 2	Grid ネットワーク
ポート 3	クライアントネットワーク（オプション）
ポート 4	Grid ネットワーク

- アグリゲートポートボンディングモードを使用する場合は、1つ以上のネットワークポートを1つ以上のスイッチに接続します。単一点障害を回避するために、4つのポートのうち少なくとも2つを接続する必要があります。1つの LACP ボンドに複数のスイッチを使用する場合は、スイッチが MLAG または同等の機能をサポートしている必要があります。

- StorageGRID の管理ネットワークを使用する場合は、SG6000-CN コントローラの管理ネットワークポートをイーサネットケーブルで管理ネットワークに接続します。
- SANtricity System Managerの管理ネットワークを使用する場合は、イーサネットケーブルを使用して、各ストレージコントローラ（左側のRJ-45ポート）の管理ポート1（E2800AのP1とE2800Bの0a）をSANtricity System Managerの管理ネットワークに接続します。

ストレージコントローラ（右側のRJ-45ポート）の管理ポート2（E2800A上にP2、E2800B上に0b）を使用しないでください。このポートはテクニカルサポート専用です。

#### 関連情報

[SG6000-CN コントローラのポートボンディングモード](#)

[SG6000-CN コントローラをキャビネットまたはラックに再度取り付けます](#)

## SG6060とSG6060X：オプションの拡張シェルフのケーブル接続

拡張シェルフを使用する場合は、E2860 コントローラシェルフに拡張シェルフを接続する必要があります。SG6060またはSG6060Xアプライアンスごとに、最大2台の拡張シェルフを用意できます。

必要なもの

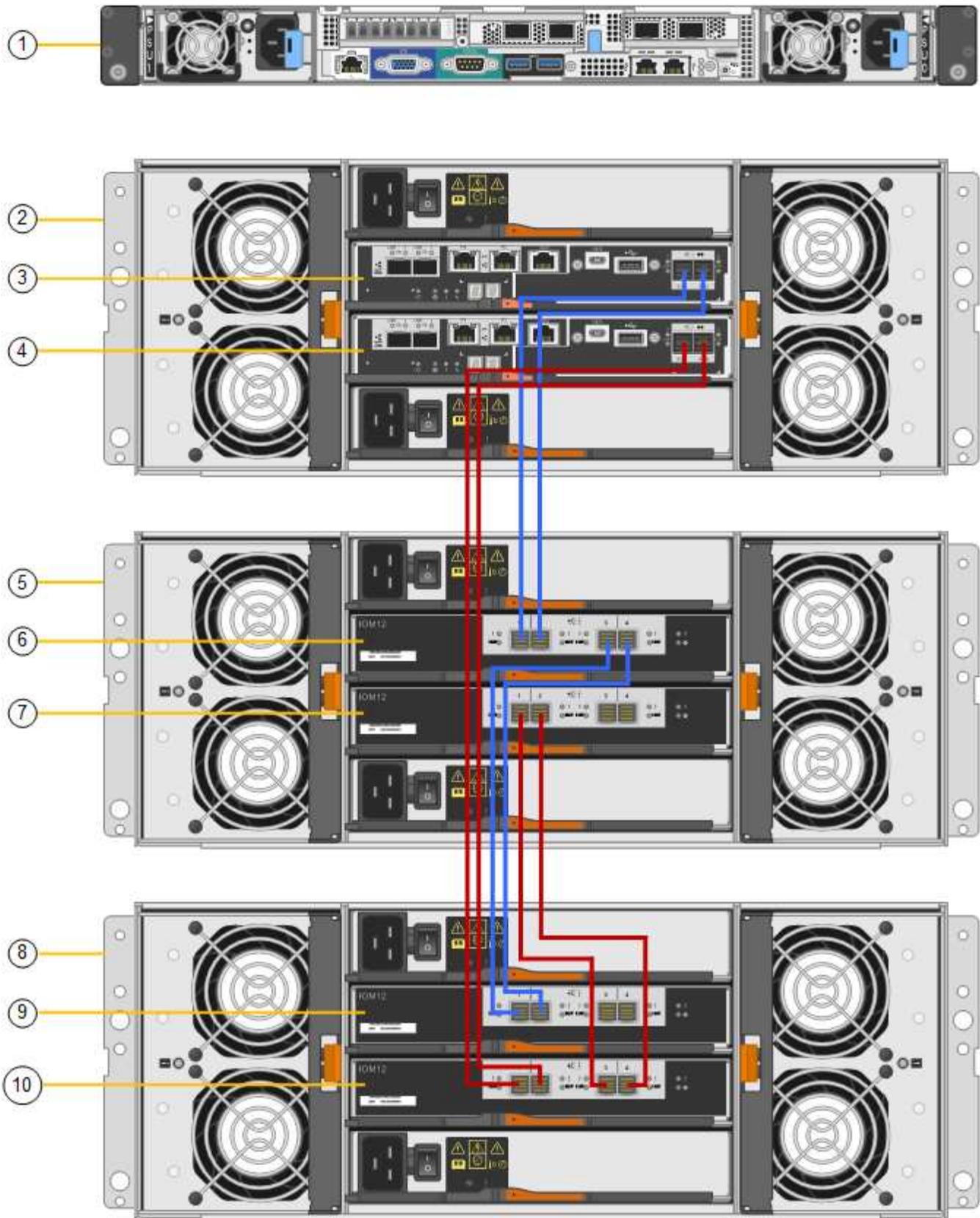
- それぞれの拡張シェルフに付属の 2 本の SAS ケーブルを用意しておきます。
- E2860 コントローラシェルフが搭載されたキャビネットまたはラックに拡張シェルフを設置しておきます。

#### SG6060とSG6060X：60ドライブシェルフをキャビネットまたはラックに設置

##### ステップ

次の図に示すように、各拡張シェルフを E2860 コントローラシェルフに接続します。

この図は、SG6060での2台の拡張シェルフのケーブル接続を示しています（SG6060Xの拡張ケーブル接続は同じです）。拡張シェルフが1台しかない場合は、IOM AをコントローラAに接続し、IOM BをコントローラBに接続します



コールアウト

説明

1.

SG6000-CN の情報

コールアウト	説明
2.	E2860 コントローラシェルフです
3.	コントローラ A
4.	コントローラ B
5.	拡張シェルフ 1
6.	拡張シェルフ 1 の IOM A
7.	拡張シェルフ 1 の IOM B
8.	拡張シェルフ 2
9.	拡張シェルフ 2 の IOM A
10.	拡張シェルフ 2 の IOM B

## 電源コードを接続して電源（SG6000）を投入

ネットワークケーブルを接続したら、SG6000-CN コントローラと 2 台のストレージコントローラまたはオプションの拡張シェルフの電源を入れることができます。

### 手順

1. ストレージコントローラシェルフの両方のコントローラがオフになっていることを確認します。



\* 感電の危険性 \* — 電源コードを接続する前に、2 台の各ストレージコントローラの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

2. 拡張シェルフがある場合は、両方の IOM の電源スイッチがオフになっていることを確認します。



\* 感電の危険性 \* — 電源コードを接続する前に、各拡張シェルフの 2 つの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。

3. SG6000-CN コントローラの 2 つ電源装置のそれぞれに電源コードを接続します。
4. これらの 2 本の電源コードを、キャビネットまたはラック内の別々の配電ユニット（PDU）に接続します。
5. ストレージコントローラシェルフの 2 つ電源装置のそれぞれに電源コードを接続します。
6. 拡張シェルフがある場合は、各拡張シェルフの 2 つ電源装置のそれぞれに電源コードを接続します。
7. 各ストレージシェルフ（オプションの拡張シェルフを含む）の 2 本の電源コードを、キャビネットまたはラック内の別々の PDU に接続します。

8. SG6000-CN コントローラの前面にある電源ボタンが青色に点灯していない場合は、ボタンを押してコントローラの電源をオンにします。

電源投入プロセス中は、電源ボタンを再度押さないでください。

9. ストレージコントローラシェルフの背面にある2つの電源スイッチをオンにします。拡張シェルフがある場合は、各シェルフの2つの電源スイッチをオンにします。

- 電源投入プロセスの実行中は電源スイッチをオフにしないでください。
- ストレージコントローラシェルフとオプションの拡張シェルフのファンは、初回起動時に大きな音を立てることがあります。起動時に大きな音がしても問題はありません。

10. コンポーネントが起動したら、ステータスを確認します。

- 各ストレージコントローラの背面のデジタル表示ディスプレイを確認します。詳細については、起動時のステータスコードの表示に関する記事を参照してください。
- SG6000-CN コントローラの前面にある電源ボタンが点灯していることを確認します。

11. エラーが発生した場合は、問題を修正します。

12. 前面ベゼルを取り外してある場合は、SG6000-CN コントローラに取り付けます。

#### 関連情報

[SG6000 ストレージコントローラのブート時のステータスコードを確認します](#)

[SG6000-CN コントローラのステータスインジケータとボタンを表示します](#)

[SG6000-CN コントローラをキャビネットまたはラックに再度取り付けます](#)

## SG6000-CN コントローラのステータスインジケータとボタンを表示します

SG6000-CN コントローラには、次のインジケータやボタンなど、コントローラのステータスの確認に役立つインジケータが搭載されています。



	表示	説明
1.	電源ボタン	<ul style="list-style-type: none"><li>• 青色：コントローラの電源がオンになっています。</li><li>• off：コントローラの電源がオフになっています。</li></ul>

	表示	説明
2.	リセットボタン	<p>_ インジケータなし _</p> <p>このボタンを使用して、コントローラのハードリセットを実行します。</p>
3.	識別ボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>点滅または青で点灯：キャビネットまたはラック内のコントローラを示します。</li> <li>消灯：キャビネットやラック内のコントローラを目視で識別できません。</li> </ul> <p>このボタンは、点滅、点灯、または消灯に設定できます。</p>
4.	アラーム LED	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンバー：エラーが発生しました。</li> <li>注： * ブート時のコードとエラーコードを確認するには、BMC インターフェイスにアクセスする必要があります。</li> <li>消灯：エラーはありません。</li> </ul>

## 一般的なブートコード

SG6000-CN コントローラのブート時またはハードリセット後、次の処理が実行されます。

1. ベースボード管理コントローラ（BMC）が、ブート処理のコード（発生したエラーを含む）を記録します。
2. 電源ボタンが点灯します。
3. ブート中にエラーが発生した場合は、アラーム LED が点灯します。

ブート時のコードとエラーコードを表示するには、BMC インターフェイスにアクセスする必要があります。

### 関連情報

[ハードウェアの設置（SG6000）のトラブルシューティング](#)

[BMC インターフェイス（SG6000）の設定](#)

[SG6000-CN コントローラの電源をオンにして、動作を確認します](#)

## SG6000 ストレージコントローラのブート時のステータスコードを確認します

各ストレージコントローラにはデジタル表示ディスプレイがあり、電源投入時にステータスコードが表示されます。ステータスコードは、E2800 コントローラと EF570 コントローラと同じです。

## このタスクについて

これらのコードの説明については、使用しているストレージコントローラタイプの E シリーズシステムの監視に関する情報を参照してください。

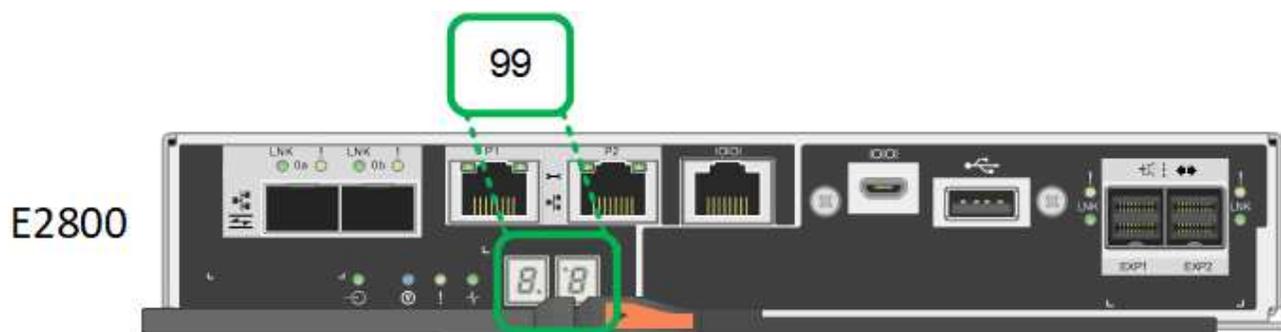
## 手順

1. ブート時に、各ストレージコントローラのデジタル表示ディスプレイに表示されるコードを確認して進行状況を監視します。

各ストレージコントローラのデジタル表示ディスプレイに、コントローラで一日の最初の処理が実行されていることを示す \* OS \*、\* SD \*、 「\*\_blank\_\*」 が繰り返し表示されます。

2. コントローラがブートすると、各ストレージコントローラに E シリーズコントローラシェルフのデフォルト ID である 99 が表示されます。

この値が両方のストレージコントローラに表示されていることを確認してください。以下は E2800 コントローラの例です。



3. 一方または両方のコントローラに別の値が表示される場合は、を参照してください [ハードウェアの設置 \(SG6000\)](#) の [トラブルシューティング](#) インストール手順が正しく完了したことを確認します。問題を解決できない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## 関連情報

"[E5700 and E2800 System Monitoring Guide](#)』を参照してください"

"[ネットアップサポート](#)"

[SG6000-CN コントローラの電源をオンにして、動作を確認します](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。